

<取材のご相談>

若手クリエイター×地方自治体でユニークPR！ 夏の映像制作キャンププログラム、Creative Summer Camp 2016

■ 自治体もユニークな移住PRで差別化！「地方の魅力」は動画で伝える時代へ！

都市から地方へまだまだ人が流れる傾向がある中、受け入れ側の地方自治体もそういった移住者の獲得に向けて、“他の地域との差別化”に向けた取り組みを進めています。特に目立つのが『地方PR動画』の制作です。

地方出身の芸能人が地元を盛り上げるためにCMに出演し、話題になる動画も多くみられます。また最近では、地元にあるものだけを生かして作られたPR動画も多くなっています。例えば、宮崎県小林市の移住促進PRムービー“**ンダモシタン小林**”は公開から1年もたたず、再生回数190万回超え。「2回見たくない動画」としても話題を集め、ネット上やテレビでも数多く取り上げられています。

地方にある魅力は、田舎らしい景色や風景だけではなく、そこに暮らす人、生きる自然、食べ物の豊かさ、その土地の方言や伝統文化など、静止画ではなく「動画」というコンテンツだからこそ、『動きをもった暮らしや表情を切り取ることができるという利点』から地方PR×動画がこれからさらに注目されそうです。



宮崎県小林市PR動画「ンダモシタン小林」



おんせん県おおいたPR動画「シンプロ」

■ この夏！若手クリエイターが地方PR動画制作に奮闘！プロの審査員もサポート！

そのような『地方PR×動画』の流れの中で、一般社団法人 my Japanは、3年前より地方の魅力を伝えることを目的として、30秒の映像を若手クリエイターが制作する「Creative Summer Camp 2016 (略：CSC)」を開催しています。広告を主としたクリエイター業界の最前線で活躍する講師と共に、若手クリエイター3人1組で、開催地域に足を運び現地で感じた魅力を30秒の映像にまとめるプログラムです。

実際に地域へ向かい、人々と交流・実際に目で見ることは、地方のより深い魅力を知ることができると思います。今年の開催地域は、新潟県佐渡島・徳島県神山町・福島県田村市です。参加者は、現地視察（ロケハン）と本番の2度現地へ足を運びます。

今回地方PR動画を若手クリエイターが制作する現場である、CSCへ密着取材も可能です。また、CSC主催団体のmy Japan、参加者の若手クリエイターへの取材（インタビューや撮影）も可能です。現地撮影に同行する講師のご紹介もできます。

若者が地域へ入り、地域に暮らす住民と交流をもちながら、どうやって地域の魅力を切り取り、アイデアを形にしていくのかご取材頂けますと幸いです。

CSCの詳細は、公式サイトよりご確認ください。[<http://my-jpn.com/csc/>]

昨年のCreative Summer Campの様子



2016年7月吉日

29歳以下の若手クリエイターが佐渡島の魅力を30秒CMで発信！ 暮らしの中にある佐渡島らしさを表現する 夏の映像制作プログラム「Creative Summer Camp 2016」開催

「日本の魅力をクリエイティブの力で世界に発信する」をコンセプトに若手クリエイター対象の映像コンテストを企画・運営する一般社団法人 my Japan (代表理事：岡本俊太郎) は、映像制作キャンププログラム「Creative Summer Camp 2016」を開催いたします。新潟県佐渡島では、「暮らしの中にある佐渡島らしさの表現」をテーマに30秒の映像を制作します。

Creative Summer Camp (略：CSC) は、広告を主としたクリエイター業界の最前線で活躍する講師の方々と共に、若手クリエイター3人1組で、自らが希望した開催地域に足を運び、現地で感じた魅力を、30秒の映像にまとめ、現地の方々に発表、その後渋谷から発信するプログラムです。3年目を迎える今年のCSCでは、新潟県 佐渡島、徳島県 神山町、福島県 田村市でプログラムを行います。

本プログラムでは、東京から佐渡島へ、1泊2日の視察（ロケハン）、2泊3日の本番（撮影・編集）に分けて活動を行います。本番3日目の午前には、完成した作品を現地会場にて、地域の方々に発表します。9月末には渋谷ヒカリエで最終発表会イベントを行い、佐渡島の映像作品は、ワンスカイの福里真一氏による審査によって優秀賞が決定します。

<Creative Summer Camp 2016・今後のスケジュール>

オリエンテーション	6月25日（土） 場所：3331 Arts Chiyoda
現地視察（ロケハン）	徳島県 神山町 7月2、3日（土、日） 新潟県 佐渡島 7月9、10日（土、日） 福島県 田村市 7月16、17日（土、日）
企画構想ワークショップ	7月31日（日） 場所：東京
本番（撮影編集・現地発表）	徳島県 神山町 8月19～21日（金～日） 新潟県 佐渡島 8月26～28日（金～日） 福島県 田村市 9月9～11日（金～日）
最終審査会	9月29日（木） 場所：渋谷ヒカリエ

<講師・審査員紹介>

中島信也氏 校長先生



主な作品に日清食品カップヌードル「hungry?」('93 カンヌ広告祭グランプリ)、サントリー「燃焼系アミノ式」(ACC グランプリ)、サントリー「伊右衛門」(ADC グランプリ)、日清ラ王「食べたい男・西島秀俊」、TOTO ネオレスト「ビッグベン・リトルベン」 など。

河尻亨一氏 教頭先生



広告を中心にファッションや映画、写真、漫画、ウェブ、デザイン、エコなど多様なカルチャー領域とメディア、社会事象を横断する様々な特集企画を手がけ、約 700 人に及ぶ国内外のクリエイターにインタビュー。伝説のクリエイター・石岡瑛子の生涯に迫る伝記「TIMELESS」をオンライン連載中。

須田和博氏



2014 年「ライスコード」アジア太平洋広告祭メディア・グランデ、ロータス・ルーツ、カンヌ国際クリエイティブフェスティバル・PR ゴールド・アウトドアゴールド、APAC エフィー賞ゴールド、第 1 回 日本イベント大賞など国内外で合計 55 冠を受賞。

伊藤直樹氏



ナイキ、グーグル、SONY、無印良品など企業のクリエイティブディレクションを手がける。2016 年、Fast Company 誌が選ぶ世界の「The Most Creative People in Business 1000」。最近の作品に成田空港第 3 ターミナルの空間デザインやサンスターのハミガキ IoT 「G・U・M PLAY」 などがある。

村田俊平氏



CM プランナー/コマーシャリスト。2009 年電通入社。
英進館 TVCM「歩く男」・宮崎県小林市 PR 動画「ンダモシタン小林」などを手掛ける。2015 年 ACC 小田桐昭賞受賞。

福里真一氏 (佐渡島 最終審査会審査員)



今までに 1000 本以上のテレビ CM を企画・制作。ジョージア「明日があるさ」、富士フイルム「フジカラーのお店」、サントリー BOSS「宇宙人ジョーンズ」、BOSS 贅沢微糖「贅沢していい人」、トヨタ自動車「こども店長」「ReBORN」「TOYOTOWN」、ENEOS「エネゴリくん」、東洋水産「マルちゃん正麺」、アフラック「ブラックスワン」、ゆうパック「バカまじめな男」など

箭内道彦氏 (田村市 最終審査会審査員)



博報堂を経て、「風とロック」設立。主な仕事に、タワーレコード「NO MUSIC, NO LIFE.」、リクルート「ゼクシィ」、東京メトロ「Find my Tokyo」、サントリー「ほろよい」、グリコ「チーザ」、ダンロップ「エナセーブ」など。

木村健太郎氏（神山町 最終審査会審査員）



2006年、従来の広告手法やプロセスにとらわれない課題解決を提案、実施するクリエイティブエージェンシー博報堂ケトルを設立。トヨタ“もっとよくしよう”、“TOYOTA 86”、リクルート“Opportunities for Life”、サントリー“HIBIKI GLASS”、ジェームス“みんなのガレージ”、“中国トヨタ”ハイランダー“、博報堂採用キャンペーン”People Expert”など。

＜ 一般社団法人 my Japan ＞

2009年より、日本の魅力をクリエイティブの力で海外に発信する30秒の映像コンテスト「my Japan Award」を開催する一般社団法人です。2014年からは、若手クリエイターを対象とした夏のキャンププログラム「Creative Summer Camp」も開催しています。29歳以下の若手クリエイターを対象に、ひとりひとりが想う日本の良さを、「my=独自」の企画性と表現して貰うことを目的としています。

本件に関するお問合せ

佐渡島コースに関してのお問い合わせ

佐渡市地域おこし協力隊 齊藤千里 070-2674-9085

Creative Summer Camp 2016 事務局（一般社団法人 my Japan）

PR チーム岡野/林 TEL：08083627240 Email：hayashi@my-jpn.com